

栗原地域だより

第37号

平成30年5月1日発行

目次

- 「金田火伏せまつり」に、初めてボランティアが参加しました！ p1
- 「山の駅 くりこま」がオープンしました！ p2
- 降雨期に備えて ～5月は水防月間・6月は土砂災害防止月間です～ p2
- 冬期閉鎖路線が開通しました p3
- 一級河川荒川河川改修事業及び主要地方道築館登米線萩沢道路改良事業に伴う「荒川築堤工事」を行います p4
- 栗原イベント情報（5月・6月） p4
- 農林産物等の放射性セシウム濃度検査について p5
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p6



「金田火伏せまつり」に、初めてボランティアが参加しました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当事務所は、中山間地域等の農山村集落の活性化を図ることを目的に、援農ボランティアや都市農村交流の実施体制づくりを支援しています。このたび、栗原市一迫金田地区で4年に1度行われる「金田火伏せまつり」について、山車づくりや山車引きのボランティアを2日に分けて募集しました。

1回目の3月25日には「金田火伏せまつり」の山車の飾り付けや準備作業を行うボランティアを募集し、仙台市・栗原市・千葉県から大学生や一般社会人など17名が参加しました。地元の金田地区にとって初めてのボランティアの受入れでしたが、作業が進むにつれ和気あいあいとした雰囲気となり、参加者から「まるで地元の人になれたようで嬉しかった。また来たい」という感想が聞かれました。

2回目は、「金田火伏せまつり」の当日である4月8日に山車引きを行うボランティアを募集し、19名が参加しました。山車引きは、手踊り・獅子舞・神楽など地区の郷土芸能が勢揃いし、川口囃子に合わせて町内を2時間ほど練り歩きました。道中では2カ所の酒蔵からのふるまい酒を味わうとともに、沿道の桜や美しい水田景観を眺



まつりの準備作業（山車づくり）の様子



まつりボランティア（山車引き）の様子

めることもでき、地域の方々とのふれあいを感じながら、本まつりを満喫することができました。

今後は、金田地区の皆さんと関係機関とで今回の反省点や今後の取り組みのあり方等についての意見交換を行う予定です。

当事務所では、今後も栗原市内における農村集落の活性化に向けた支援を継続していきます。

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班 Tel：0228-22-2398

「山の駅 くりこま」がオープンしました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

4月20日、栗原市栗駒岩ヶ崎の旧役場跡地に「山の駅 くりこま」(栗原市栗駒特産物直売センター)がオープンしました。

この施設は、栗原市が農山漁村振興交付金を活用して建設したもので、農村の魅力と観光需要を結びつける取り組みを推進することを目指しています。

開店前に行われたオープニングセレモニーにおいても、千葉栗原市長から「長年、建設を要望されていた施設であり、本施設を活用して栗原市の交流人口の増加と農産物の売上げ増加を目指す」とのあいさつがありました。また、直売センターの指定管理者である栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合 吉田組合長は「施設が完成し、地域の期待を集めている。観光拠点として大いに活用していきたい」と意気込みを語りました。

この日は好天に恵まれたこともあり、多数の来場者を迎えて、大変賑わう初日となりました。

当事務所は、今後も栗原市の魅力を外部に発信していくとともに、関係機関と連携して観光振興を推進していきます。



オープニングセレモニー



来場者で賑わう初日

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

降雨期に備えて ～5月は水防月間・6月は土砂災害防止月間です～

北部土木事務所栗原地域事務所

近年、豪雨や土砂災害が増加傾向にあり、昨年は九州北部豪雨をはじめ、全国的に豪雨による甚大な被害が発生しました。また、4月11日の大分県中津市耶馬溪町における大規模な山崩れでは、人的被害や住宅被害が発生しています。

県は、「宮城県土木部総合情報システム」により、雨量や河川の水位、土砂災害警戒情報などをリアルタイムで情報発信しています。大雨時には、地域の情報とあわせてパソコンやスマホ等で確認いただき、

異常を察知した場合には早めの避難をお願いします。

また、5月は水防月間、6月は土砂災害防止月間です。地域の防災訓練等への参加や、避難場所・避難経路の確認など、日頃から防災への備えを心がけるようお願いします。



「宮城県土木部総合情報システム」（雨量や水位状況など）はこちらから →

なお、当事務所では、毎年6月の土砂災害防止月間に、宮城県砂防ボランティア協会の支援のもと、栗原市と共同で土砂災害警戒区域のパトロールを行っています。この活動を通じて、住民の方々からの情報の聞き取りや、異常を感じた場合における早めの行動を改めてお願いしているところですが、今年は、4月に大分県で発生した山崩れを踏まえ、5月のゴールデンウィーク明けからこのパトロールを実施することになっています。



平成29年度土砂災害警戒区域パトロールの様子

■お問い合わせ 北部土木事務所栗原地域事務所 河川砂防班 Tel：0228-22-2193

冬期閉鎖路線が開通しました

北部土木事務所栗原地域事務所

平成29年11月から通行規制（通行止め）をしていた、下記の栗原市内3路線が4月27日に開通しました。国道398号では、栗原市と秋田県湯沢市が共催で開通式を行い、開通を祝いました。

今年は例年に比べ降雪量が多く、気温も低い傾向であったことから、例年より早い時期から除雪作業に着手しました。また、4月にかけて気温の高い日が続ぎ、作業も円滑に進んだことから、大型連休前に開通することができました。

なお、開通後においても気象条件により降雪や凍結が想定される場合がありますので、通行の際はご注意ください。

- 国道398号（栗原市花山字本沢温湯～秋田県境 L=14.4km）
4月27日正午開通
- 主要地方道築館栗駒公園線（栗原市栗駒沼倉耕英～同いわかがみ平 L=3.4km）
4月27日正午開通
- 一般県道岩入一迫線（大崎市鳴子温泉鬼首字岩入～栗原市花山字草木沢 L=7.6km）
4月27日正午開通

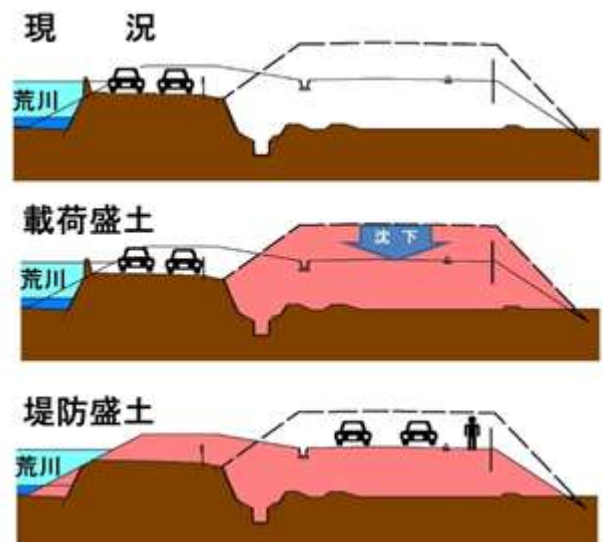
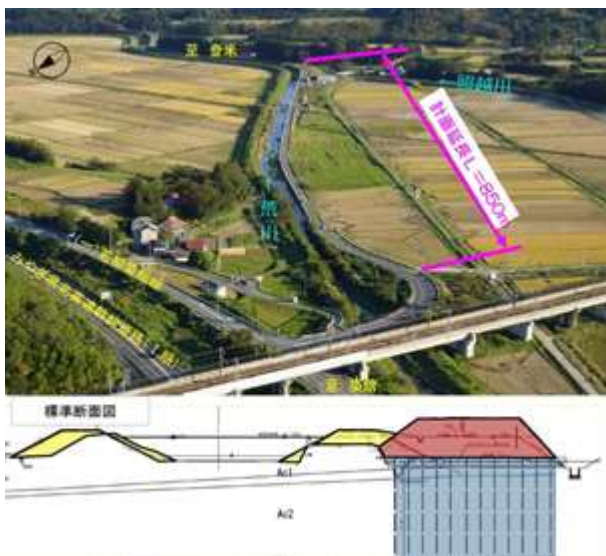
■お問い合わせ 北部土木事務所栗原地域事務所 道路管理班 Tel：0228-22-2179

一級河川荒川河川改修事業及び主要地方道築館登米線萩沢道路改良事業に伴う
「荒川築堤工事」を行います

北部土木事務所栗原地域事務所

主要地方道築館登米線は、栗原市と登米市を結ぶ幹線道路です。荒川と並行する築館萩沢地区では、洪水時に荒川から流水が溢れて、県道の長時間通行止めや、周辺地域の冠水被害が発生しています。

このため、洪水被害の防止・軽減と快適で安全な道路通行の確保に向け、荒川河川改修及び県道改良工事を行います。今後、盛土や橋梁等の施工時には、片側通行や通行の切替え等が発生する場合があります。通行の際は、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、現場の標識や案内に従って通行してください。



■お問い合わせ 北部土木事務所栗原地域事務所 道路建設班 Tel : 0228-22-2189

栗原イベント情報 (5月・6月)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

<5月>

日にち	イベント名	地域
5/5(土)	花山鉄砲まつり	花山
5/6(日)、5/20(日)	築館朝市	築館
5/8(火)~5/9(水)	築館互市	築館
5/11(金)、5/16(水)、5/21(月)、5/26(土)	若柳朝市	若柳
5/20(日)	栗原せみね藤まつり	瀬峰



<6月>



日にち	イベント名	地域
6/1(金)、6/6(水)、 6/11(月)、6/16(土)、 6/21(木)、6/26(火)	若柳朝市	若柳
6/2(土)	くりこま夜市	栗駒
6/3(日)	築館朝市	築館
6/15(金)~7/4(水)	第36回山王史跡公園あやめ祭り	一迫
6/22(金)~7月下旬	南くりこま高原一迫ゆり園開園	一迫
6/24(日)	第33回みちのく鹿踊大会	一迫

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel: 0228-22-2195

農林産物等の放射性セシウム濃度検査について

北部地方振興事務所栗原地域事務所

県は、平成 23 年 3 月の東京電力福島第一原子力発電所の事故の発生以来、県内各合同庁舎等に NaI シンチレーションスペクトロメータ（簡易検査機器）を設置し、試験研究機関等にはゲルマニウム半導体検出器（精密検査機器）を設置して、県産農林産物等の放射性セシウム濃度検査を行ってきました。

当事務所においても、合同庁舎内の「簡易検査機器」と古川農業試験場（大崎市古川）の「精密検査機器」を使用して、栗原市内の農林産物等の放射性セシウム濃度検査を実施しています。その結果は、当「地域だより」の最終ページにて「栗原産農林産物の簡易検査結果」としてお知らせしています。

原発事故から 7 年が経過した現在、穀類（米、大豆、そば）及び野菜、果樹等の農産物からは食品の基準値である 100 ベクレル/kg を超える放射性セシウム濃度は検出されていません。しかし、野生の林産物や原木のきのこについては、まだ出荷制限中の品目があります。

このような状況を踏まえ、平成 30 年度以降もこれまでと同様の調査点数を目標に、農林産物等の放射性セシウム濃度の測定を継続していきます。なお、測定結果につきましても、引き続き当「地域だより」の最終ページに掲載して皆さまにお知らせしていきます。

当事務所では今後も、栗原産及び県産の農林水産物の安全・安心を守るとともに、県民の方への的確な情報提供に取り組んでいきます。

区分	検査点数 (点)	検査結果			
		不検出 (点)	検出 (点)	うち基準値 超過(点)	最大値 (Bq/kg)
精密検査	74	71	0	0	—
簡易検査	147	146	1	0	7

区分	検査点数 (点)	検査結果			
		不検出 (点)	検出 (点)	うち基準値 超過(点)	最大値 (Bq/kg)
米	10	10	0	0	—
大豆	11	11	0	0	—
夏そば	1	0	1	0	8
秋そば	4	3	1	0	11

○平成 29 年度の野菜、果樹等の放射性物質検査

○穀類（米、大豆、そば）の放射性物質検査

※精密検査 1~2 点/週、簡易検査 3~4 点/週を実施。

※流通前に出荷自粛要請を行い、検査確認後旧 10 町村単位で出荷自粛を解除。

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel: 0228-22-9437（農産物）

林業振興部 林業振興班 Tel: 0228-22-2381（林産物）

栗原地域だより【5】

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています
(平成 30 年 2 月 19 日～平成 30 年 4 月 20 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

2 月 19 日から 4 月 20 日までの間に農林産物 26 点の放射性物質検査を行い、すべてが食品の基準値 (100 ベクレル/kg) 以下でした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認していますので、安心してお召し上がりください。

なお、栗原市産のこごみ、こしあぶら、たらめ(野生)、野生きのこの 4 品目の山菜類は、出荷制限指示を受けており、市場や直売所等には出荷できません。

(原木しいたけ(露地)、たけのこについても、出荷制限が続いています。ただし、これらは一部地域(登録生産者)のみ出荷できる状況です。詳しくは、林業振興部にお問い合わせください。)

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの (2/19~4/20)

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
キャベツ (2点)	—	◎	クレソン (2点)	—	—	◎
茎ブロッコリー	—	◎	原木しいたけ	—	◎	—
こまつな (2点)	◎	◎	せり	—	—	◎
だいこん (4点)	—	◎	葉わさび	—	—	◎
チンゲンサイ	◎	—	ふきのとう	—	—	◎
つぼみ菜	—	◎				
にんじん (3点)	—	◎				
ねぎ	—	◎				
はくさい	—	◎				
ほうれんそう (2点)	◎	◎				
ヤーコン	—	◎				
レタス	◎	—				

◎：基準値以下 —：検査未実施

※放射性セシウム濃度基準値	
食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を
ご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437 (農産物)

林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381 (林産物)

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 (地方振興部)
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284
E-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号 (第 38 号) は平成 30 年 7 月 2 日発行予定です。

